

昭和51調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲



重複して検出された住居址の写真
(所蔵：三浦市教育委員会)

いつ（調査期間）

昭和51(1976)年8月29日～30日

だれが（調査した人）

神奈川県教育委員会

調査概要

所在地

神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ320番2

調査面積

約20m²

調査原因

深耕事業(天地返し)に伴う調査

主な遺構

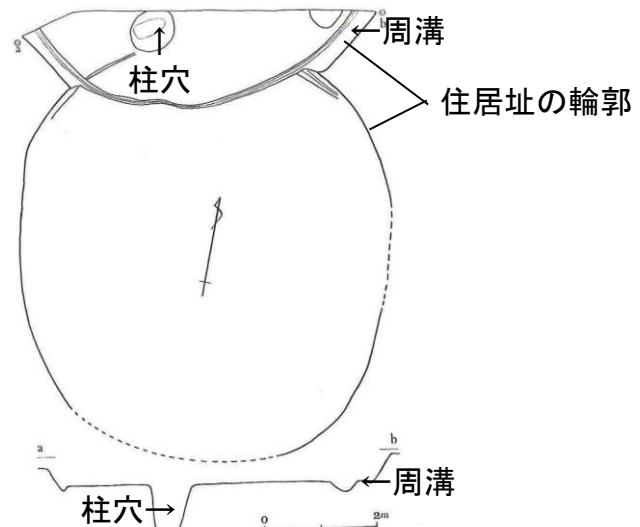
住居址2軒

主な遺物

弥生土器片

特記事項

2軒の住居址が検出されたが深耕事業(天地返し)を中断しての調査であり、残りは非常に悪い。1軒は床や柱穴から宮ノ台式土器が検出されており弥生中期の住居址と考えられ、もう1軒は直径が約7m程の大きさを持ち、久ヶ原式土器が検出されていることから、弥生後期の住居址と考える。(参考文献：『三浦市赤坂遺跡』・昭和52(1977)年11月)



住居址の平面図(上)及び断面図(下)
(出典：『三浦市赤坂遺跡』・昭和52(1977)年11月)